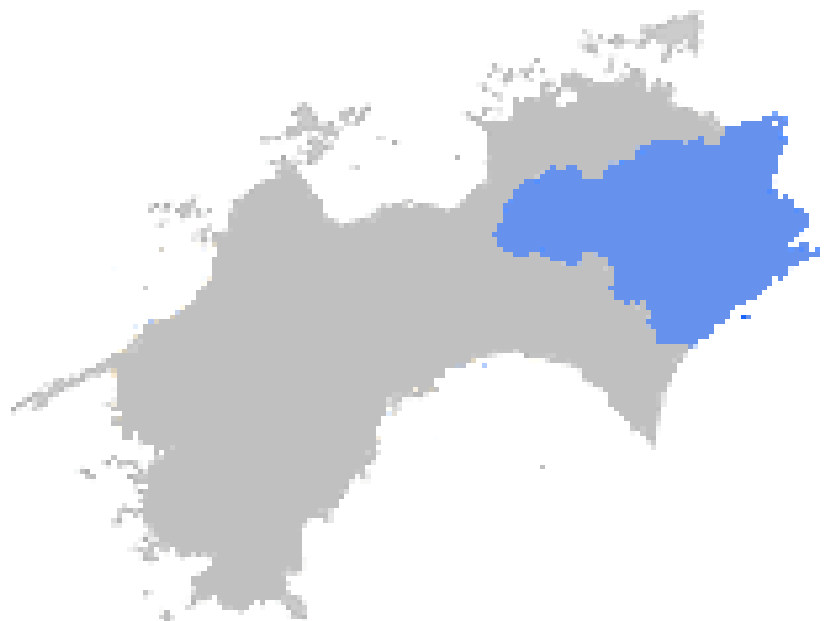


徳島県内経済情勢報告

令和 8 年 7 月



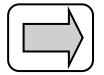
財 務 省
徳 島 財 務 事 務 所

徳島県内経済情勢報告

	令和8年4月判断	令和8年7月判断	総括判断の要点	4月判断との比較
総括判断	持ち直しのテンポが緩やかになっている	緩やかに持ち直しつつある 【7期ぶり上方修正】	個人消費は、スーパーが底堅いものとなっているほか、家電大型専門店が好調となっていることなどから、全体としては緩やかに持ち直しつつある。 生産活動は、木材・木製品が弱い動きとなっているものの、化学やはん用・生産用・業務用機械が緩やかに持ち直していることから、全体としては緩やかに持ち直しつつある。 雇用情勢は、持ち直しつつある。	

〔先行き〕

先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかに持ち直していくことが期待されるものの、中東情勢や金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。

項目	令和8年4月判断	令和8年7月判断	4月判断との比較
個人消費	持ち直しのテンポが緩やかになっている	緩やかに持ち直しつつある 【7期ぶり上方修正】	
生産活動	緩やかに持ち直しつつある	緩やかに持ち直しつつある 【前回から判断据え置き】	
雇用情勢	緩やかに持ち直しつつある	持ち直しつつある 【9期ぶり上方修正】	
公共事業	前年度を上回っている	前年度を上回っている	
住宅建設	前年を上回っている	前年を下回っている	
設備投資	7年度は前年度を下回る見込み	8年度は前年度を下回る見込み	

※ 8年7月判断は、前回8年4月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

個人消費

個人消費

緩やかに持ち直しつつある

- スーパーは、飲食料品に動きがみられることから、全体としては底堅いものとなっている。
- コンビニエンスストアは、おにぎりの動きが鈍いものの、ファーストフードに動きがみられることから、全体としては底堅いものとなっている。

〔主なヒアリング結果〕

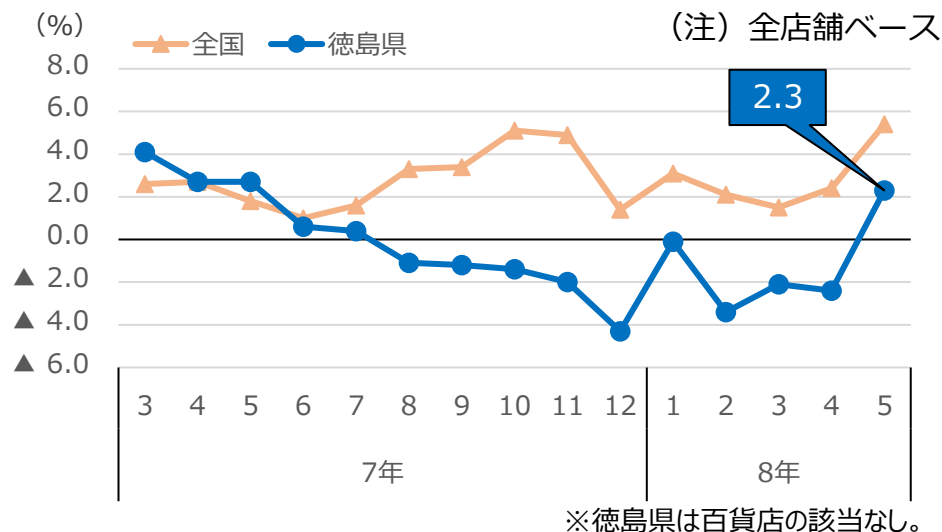
「スーパー」

- 買上点数は減少傾向にある。節約志向は根強く、より安価な商品求めて、ドラッグストアを含め購入店舗を使い分ける傾向がみられる。
- 衣料品は肌着に動きがみられているものの、全体としては前年を下回って推移している。
- 飲料、鶏肉、鮮魚の動きがよい。
- コメは前年の約5割から7割の売れ行き。前年のコメ不足と価格高騰といった特殊事情からの反動減となっている。今後はコメ価格の低下が想定されるため、例年どおりの推移となる見通し。

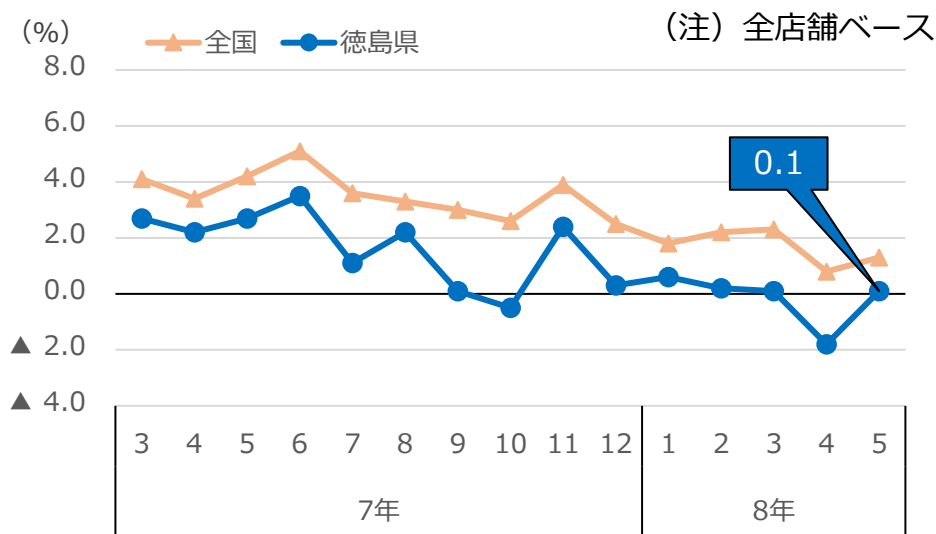
「コンビニエンスストア」

- コメ価格は低下傾向だが、海苔の価格高騰によりおにぎりの値段は下らず、割高感から売上げが伸び悩んでいる。
- フライヤーは人気商品の好調が続いており、売上げが伸びている。

〔百貨店・スーパー販売額（前年同月比）〕



〔コンビニエンスストア販売額（前年同月比）〕



【出所】 経済産業省、四国経済産業局

個人消費

- ドラッグストアは、日用品や化粧品に動きがみられることから、全体としては順調となっている。
- ホームセンターは、季節商品に動きがみられることから、全体としては堅調となっている。
- 家電大型専門店は、エアコンに動きがみられることから、全体としては好調となっている。
- 乗用車の新車登録・届出台数は、普通車、小型車、軽乗用車のいずれにおいても前年同期（４－６月）を上回っている。
- 観光は、国内観光客が増加していることから、回復している。
- 旅行は、国内旅行は回復に向けたテンポが緩やかになっており、海外旅行は持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている。

〔主なヒアリング結果〕

「ホームセンター」

- エアコンや扇風機などの夏に好調となる家電の売上げが前年を大きく上回っている。

「家電大型専門店」

- エアコンについては、2027年問題（省エネ基準の厳格化）への早期対策等による買い替え需要から売上げが前年を大きく上回っている。

「観光」

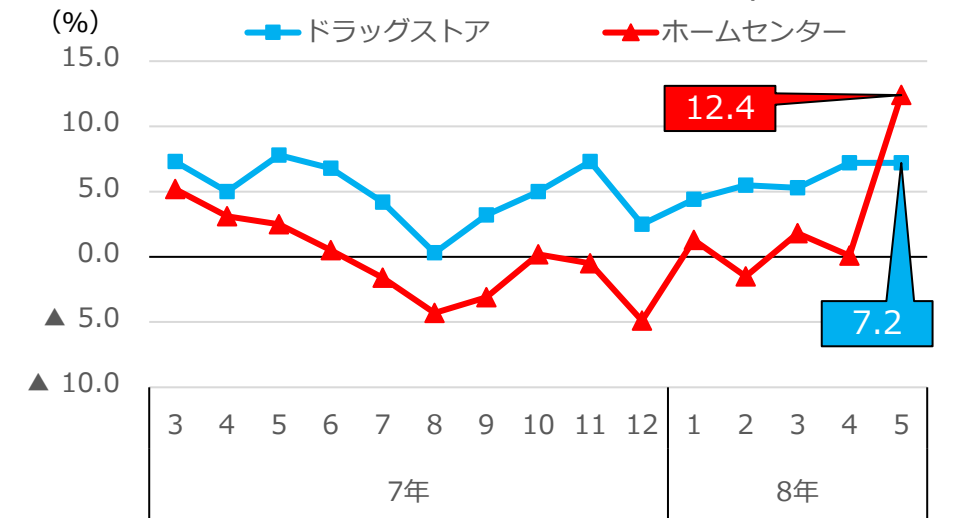
- 天候に恵まれたGW後半を中心に、県外客等の国内客数が前年を上回っている。

「旅行」

- 国内旅行は横ばい。海外旅行については、燃油サーチャージの大幅値上げの影響から、4月中に駆け込み需要がみられた一方で、5月以降は減少傾向となっている。

〔徳島県の専門量販店販売額（前年同月比）〕

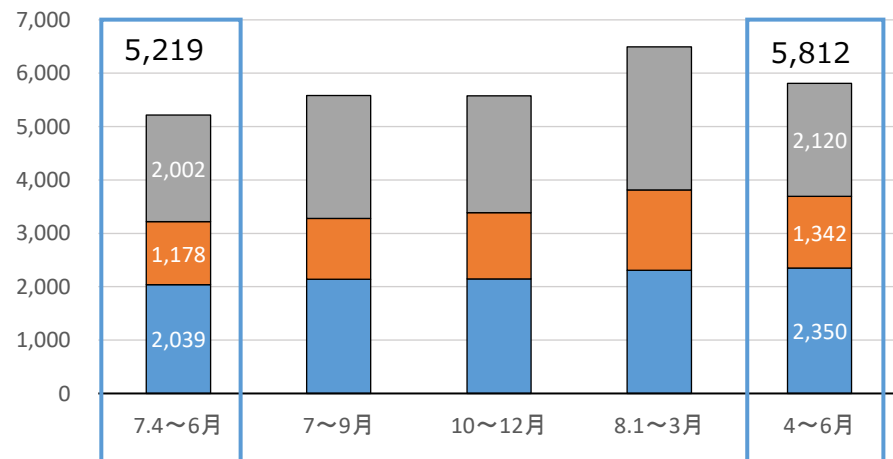
（注）全店舗ベース



【出所】 経済産業省、四国経済産業局

〔徳島県の乗用車新車登録・届出台数〕

■ 普通車 ■ 小型車 ■ 軽乗用車



【出所】（一社）日本自動車販売協会連合会、（一社）全国軽自動車協会連合会のデータから算出 3

生産活動

生産活動

緩やかに持ち直しつつある

- 化学は、緩やかに持ち直している。
- 金属製品は、緩やかに持ち直しつつある。
- 木材・木製品は、弱い動きとなっている。

〔主なヒアリング結果〕

《化学》

- 製品の需要は安定しており、生産調整を伴いながらも、一定水準の生産を維持している。
中東情勢を受けた原材料の値上がりはあるものの、生産体制への影響は小さい。

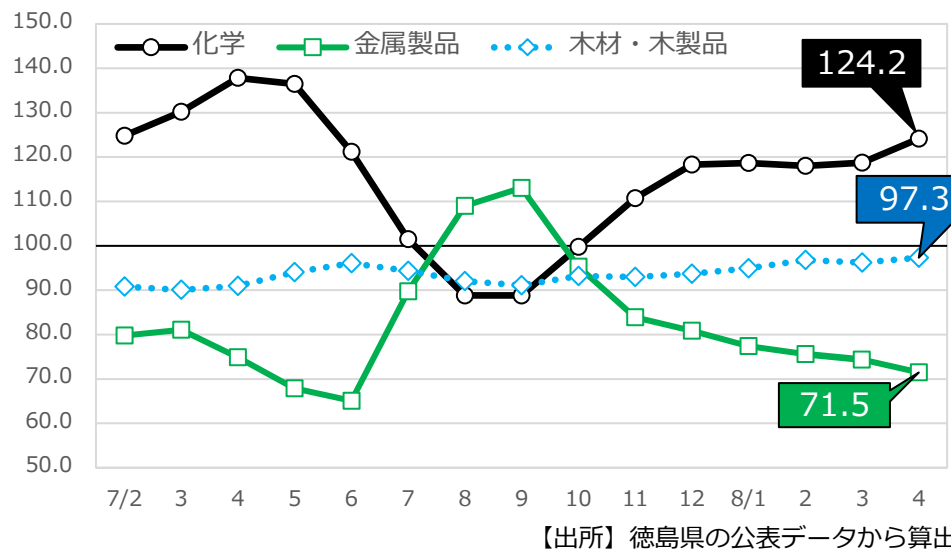
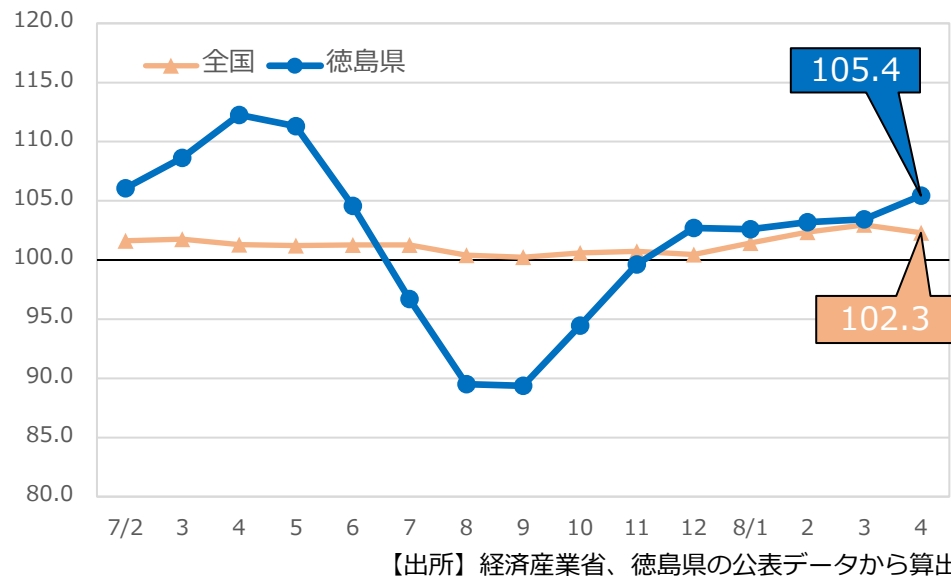
《金属製品》

- 半導体関連製品向けの受注が堅調である。

《木材・木製品》

- ナフサ不足により住宅着工の延期や取りやめが発生しており、商品の需要が低調である。

〔徳島県の鉱工業生産指数(季節調整済指数、3か月移動平均、令和2年=100)〕



生産活動

- 電気機械は、足踏みの状況にある。
- はん用・生産用・業務用機械は、緩やかに持ち直している。
- 食料品・飲料・飼料は、緩やかに持ち直しつつある。
- パルプ・紙・紙加工品は、緩やかに持ち直しつつある。

〔主なヒアリング結果〕

《電気機械》

- 車載向けの需要は横ばい圏内の動きである。

《はん用・生産用・業務用機械》

- 生産用機械については昨年からの大型案件もあり、生産は高水準を保っている。

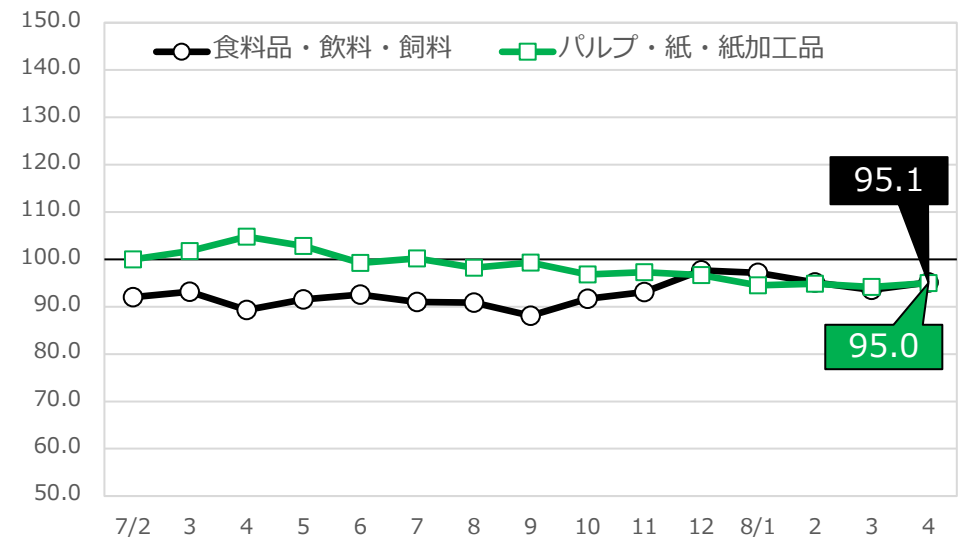
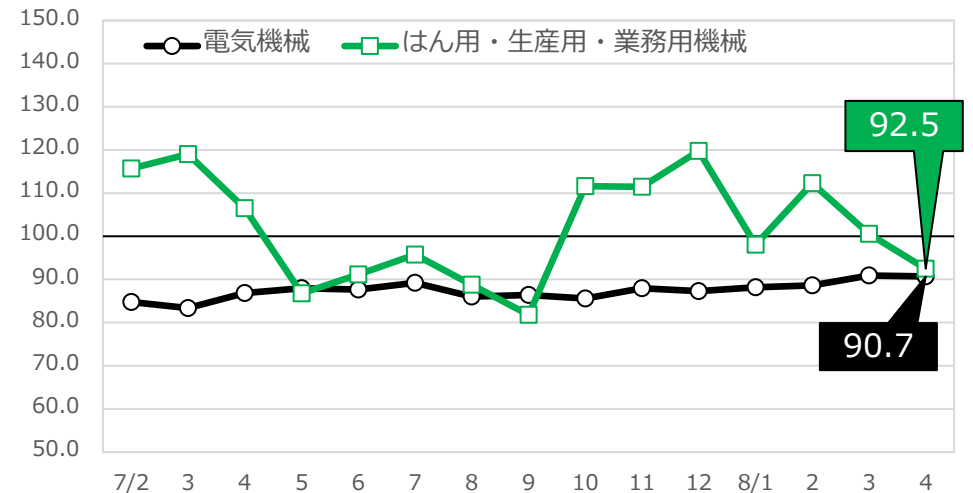
《食料品・飲料・飼料》

- 外食企業からの受注減少の影響が続いているものの、一部商品の売上高や生産量に増加がみられる。

《パルプ・紙・紙加工品》

- 国内需要は減少傾向であるものの、足下の生産量はやや上向きである。

〔徳島県の鉱工業生産指数(季節調整済指数、3か月移動平均、令和2年 = 100)〕



【出所】徳島県の公表データから算出

雇用情勢

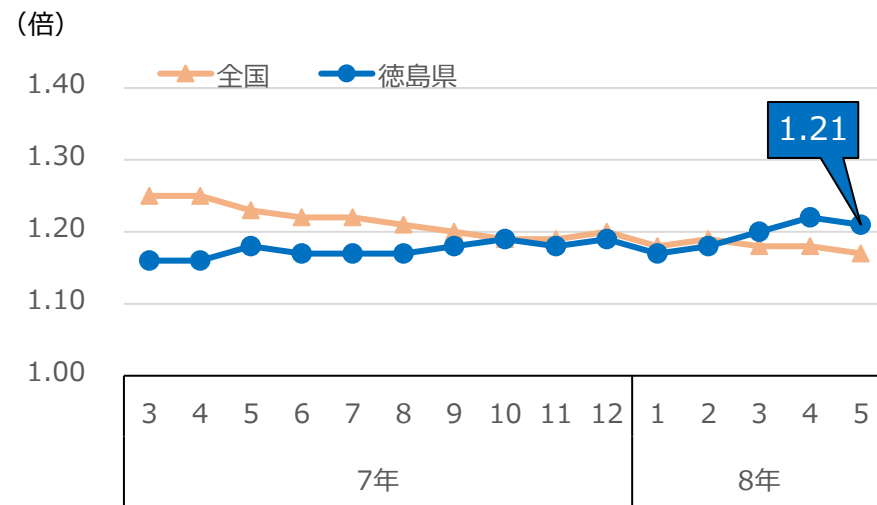
雇用情勢 持ち直しつつある

- 有効求人倍率は、緩やかに上昇している。
- 新規求人数は、前年同期（3 - 5月）をやや下回っている。

〔主なヒアリング結果〕

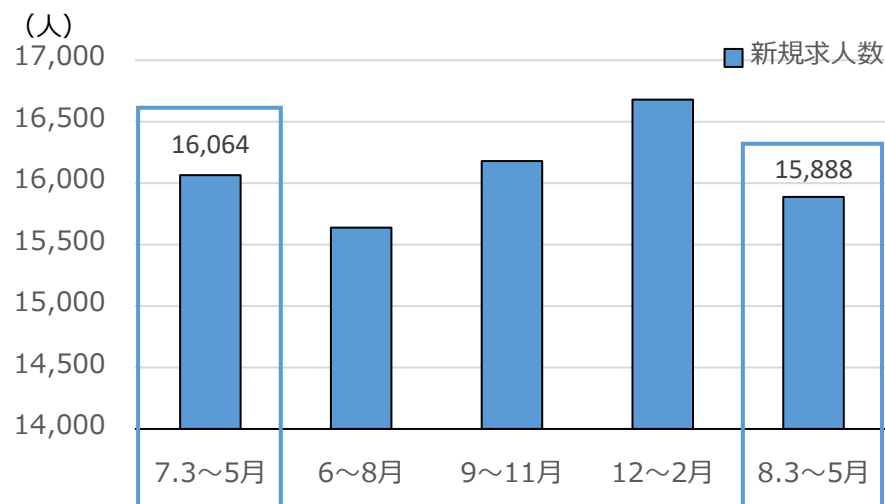
- 中東情勢や燃料価格高騰の影響について、経営に影響があるとの声は聞かれるものの、求人に係る影響は、現時点では大きくは表れていない。
- 人手不足の影響について、「このまま人員不足の状況が続くと業務の縮小も考えていかなければならない（介護業）」などの声が聞かれている。

〔有効求人倍率（季節調整値）〕



【出所】厚生労働省

〔徳島県の新規求人数（原数値）〕



【出所】厚生労働省の公表データから算出

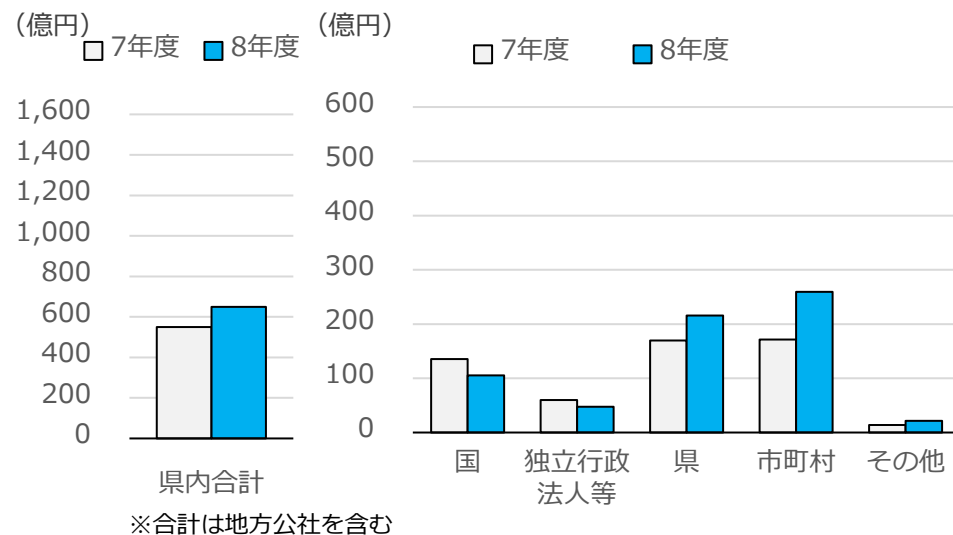
公共事業・住宅建設

公共事業

前年度を上回っている

○前払金保証請負金額でみると、国及び独立行政法人等は前年度を下回っているものの、県及び市町村は前年度を上回っていることから、全体としては前年度を上回っている。

〔徳島県の公共工事前払金保証請負金額（6月累計額）〕



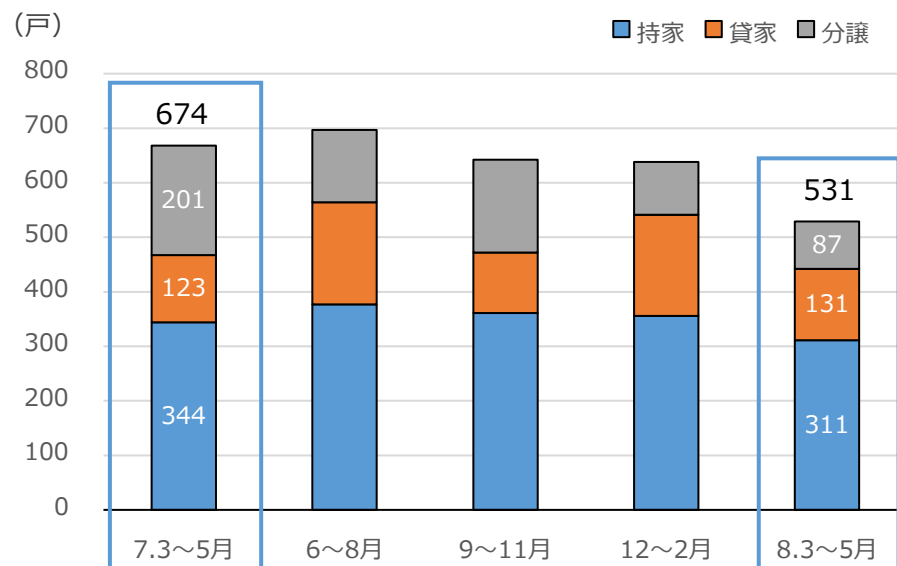
【出所】西日本建設業保証（株）等

住宅建設

前年を下回っている

○新設住宅着工戸数でみると、貸家で前年を上回っているものの、持家、分譲で前年を下回っていることから、全体としては前年同期（3－5月）を下回っている。

〔徳島県の新設住宅着工戸数〕



※合計は給与住宅を含む 【出所】国土交通省の公表データから算出 7

設備投資・企業倒産・消費者物価

設備投資

8年度は前年度を下回る見込み

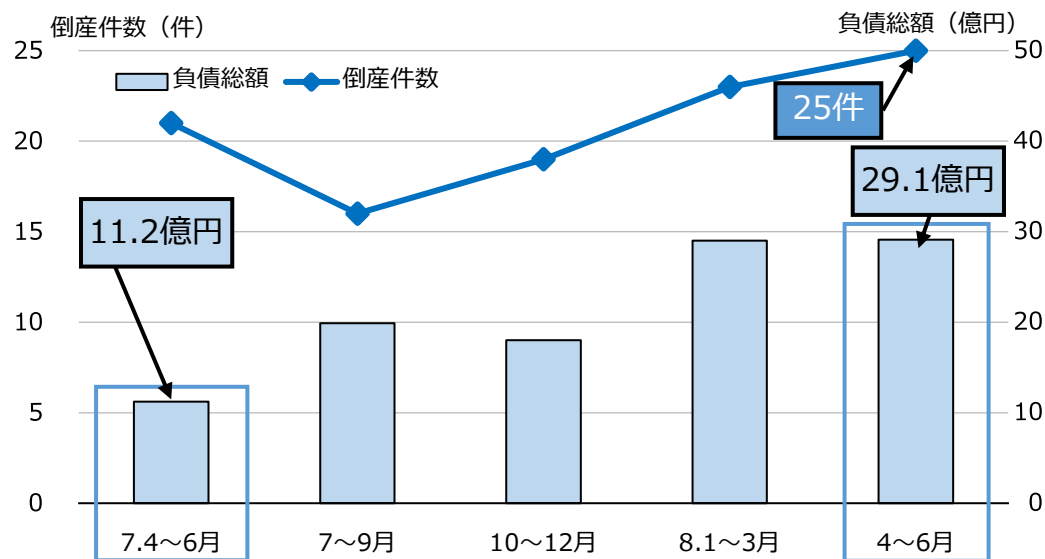
企業倒産

件数、負債総額ともに前年を上回っている

消費者物価

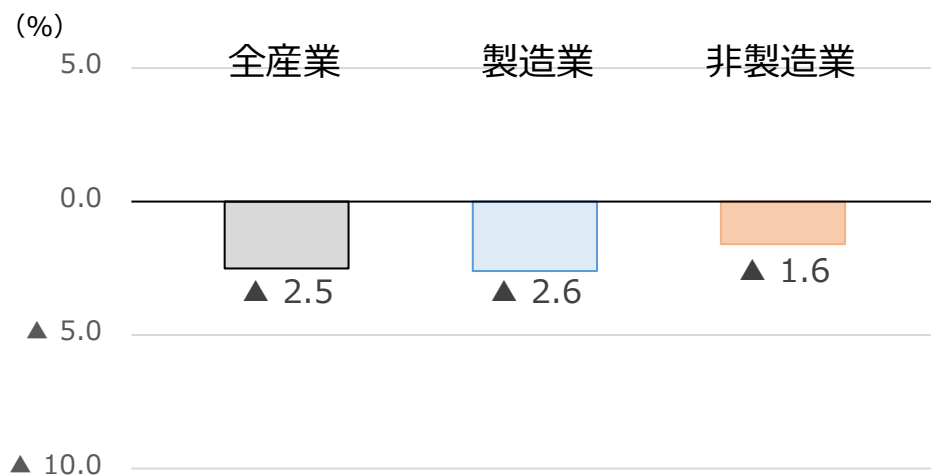
前年を上回っている

〔徳島県の倒産件数・負債総額（負債額1,000万円以上）〕



【出所】東京商工リサーチの公表データから算出

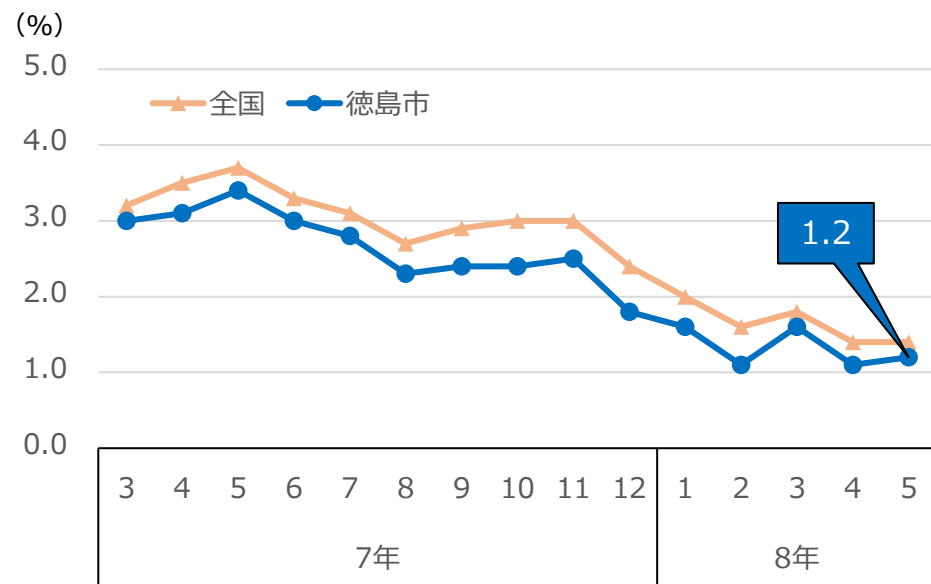
〔徳島県の設備投資（前年度比）〕



※8年4～6月期調査の結果

※ソフトウェア含む、土地除く 【出所】徳島財務事務所（法人企業景気予測調査）

〔消費者物価指数（生鮮食品を除く総合、前年同月比、2020年=100）〕



【出所】総務省



すだちポン

●お問い合わせは

T E L (0 8 8) 6 2 2 - 5 1 8 1

総務課（内線 2 0 1） 又は
財務課（内線 2 1 0） へ

徳島財務事務所

<https://lfb.mof.go.jp/shikoku/tokushima/index.html>

※計数は、季節調整替え、基準改定、速報の確報化、誤計数の判明等により、過去に遡って訂正される場合があるので、利用される場合は、各発表機関の直近の公表データをご確認ください。